



## 現在の和食ダム 左岸側の掘削を継続中



上流(右岸)側からみた和食ダム



下流側からみた和食ダム



和食ダムは、引き続き左岸の掘削をしており、6月末時点でEL.138.0mまで下りてきました。現在掘削している面から徐々に岩質が硬くなってきましたので、今後はブレイカーを使用しての作業が出てくる予定です。できる限りはバックホウで施工しますが、週の内では何日かは部分的にブレイカーの使用をするかと思っておりますのでご了承ください。今後とも粉塵の発生や騒音等周辺環境に十分配慮しながら安全第一で作業を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 清掃ボランティアへの参加

6月16日(日)芸西村の環境の日に村内で地域の清掃が行われました。和食ダム建設事務所も瓜生谷東地地区にて草刈りを実施しました。天気は前日の雨とは一転し晴天の中、暑すぎず作業に集中できました。芸西村の美化活動のお手伝いできてよかったです。また、来年も参加します！！  
参加者の皆様、お疲れ様でした。



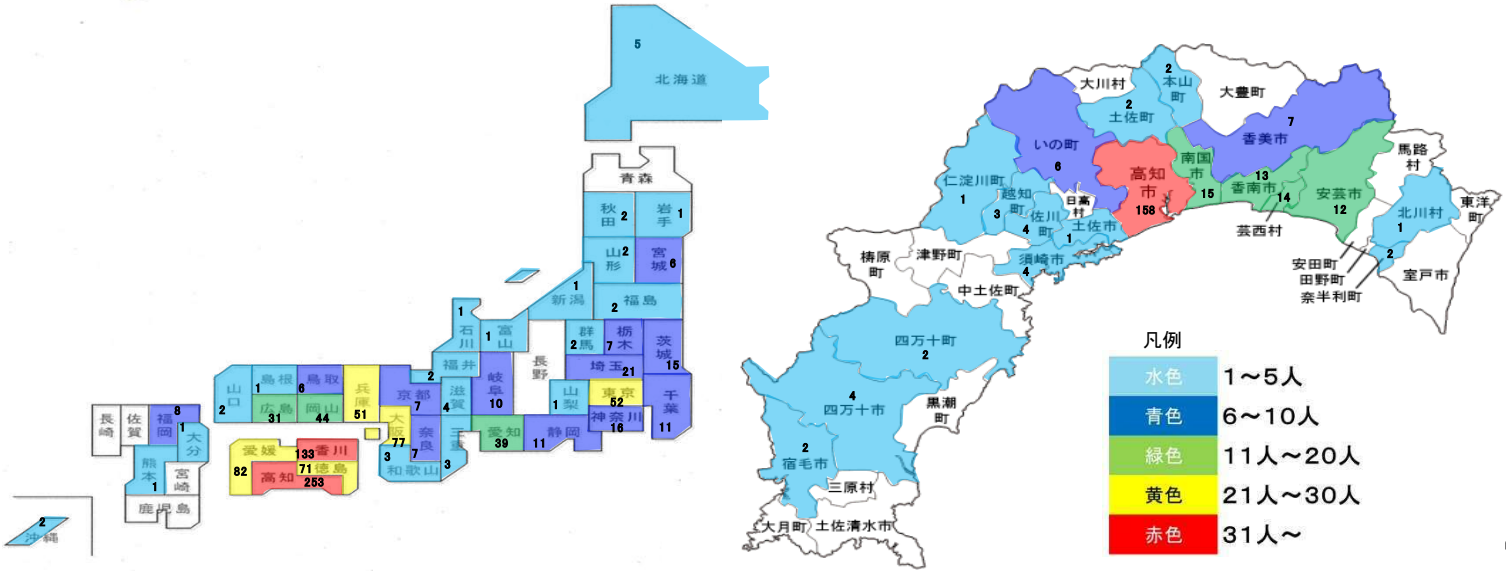
# 大人気のダムカードVer.2.0 配布数1,550枚突破！



ダムカード配布(来訪者)実績 (H29. 9~R1. 5)

全国

県内



平成29年9月より配布を開始した「和食ダムカードVer.2.0」ですが、おかげさまで配布数1,550枚を突破しました。平日8時30分~17時15分のみを配布時間とさせていただきますが、県内外たくさんの方々にご足を運んでいただいております。

ダムカードは今後も引き続き配布していきますので、ご入り用の方はダム事務所までお越しください。

また、デザイン更新等があれば、随時本紙やホームページにてお知らせいたしますので、チェックしてみてください。

## 芸西村の史跡紹介【第20弾】

### 「輸送園芸と松本四郎像」



### 《輸送園芸と松本四郎像》

芸西地区の輸送園芸の始まりは、大正時代のお多福豆の出荷からで、村農会が中心となり、発展しました。

松本四郎は昭和二十五年(一九五〇)園芸組合の専務となり下級品市場を設置し、昭和三十年(一九五五)には芸西青果市場となり今日の市場の基礎を作りました。また、村の各役職にも就き、園場整備事業では発起人の一人として事業の完成に尽力しました。園芸組合は長年の功績を称え、昭和六十年(一九八五)胸像を設立しました。

次回は「西分小学校」です。

## お知らせ



瓜生谷地区住民の方々を対象とした現場見学会を令和元年7月に実施を予定しております。  
現場見学会のお申込みについては、随時受付しておりますので、ご希望の方は和食ダム建設事務所までご連絡ください。  
また、7月より和食川河川改修事業の護岸詳細設計業務及び村道橋架替予定箇所の地質調査業務が始まります。業務関係者が現地へ出入りすることが多くなりますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

次回の和食ダム便りは8月頃を予定しています。  
どうぞよろしくお願いいたします。

